

婚礼案内

美しや
紅の色なる
梅の花
あこが顔にも
つけたくぞある



湯島天神



公共交通機関



千代田線「湯島駅」3番出口 徒歩2分
銀座線「上野広小路駅」A4番出口 徒歩5分
丸ノ内線「本郷三丁目駅」2番出口 徒歩10分

大江戸線「上野御徒町駅」A4番出口 徒歩5分
山手線「御徒町駅」北口出口 徒歩8分

お問い合わせ

ご婚礼のご相談、お下見をご希望の方は、
婚礼担当までお気軽にご連絡ください。

湯島天満宮

〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目30番1号

電話 03-3836-0753

受付時間 9:30~17:00

湯島天満宮

検索



それはあなたの人生の中で特別な意味を持ちます。

お二人が今ここにあるということ。

それは、数えきれないほどのご先祖様の営みの結果にあります。

また、ご両親、ご親戚、ご友人：多くの方々に

支えられ、育てられてきたことでしょう。

そして何よりも神様がお守りくださつたからこそ

今お二人は結婚という新しい道を歩まれようとしているのです。

家族は幸せの原点となり、ご先祖様やご両親から連綿と続く、

命を繋げ育む、貴い絆です。

結婚式は、今までお世話をなつた方々に、

そしてこれまでお守りいただき、

素敵なご縁をお結びいただいた神さまに感謝の心を捧げ、

また新たな幸福を紡ぎだす出発の儀式なのです。

結婚式



湯島天神の神さま

天之手力雄命

あめのたぢからをのみこと

開運の神さま、スポーツの神さま、力の神さまとして知られる神さまです。

天照大神（あまでらすおおみかみ）が天の岩戸にお隠れになつた際、

岩戸を引き開けられ、世界に明るさを戻されたことで知られています。

菅原道真公

すがわらのみちざねこう

約千二百年前平安時代に活躍された政治家、詩人です。

その偉大な事績や人柄から、文学・詩歌・書道・芸能の神さまとして、信仰され、特に学問の神さまとして知られています。



式次第

御神前に夫婦の契りを
結ぶことをお伝えし、
末永い幸せを祈願する儀式

手水

本殿に進むにあたり、手水にてお清めを致します。

参進

境内が眼下に広がる渡廊下にて列を整え、

新郎新婦・父母・兄弟・祖父母・親戚の順にて、本殿へ進みます。

修祓

式に先立ち、新郎・新婦・親族皆様をお祓い致します。

斎主一拝

さいしゅ いつぱい

式の始めにあたり、式を取り仕切る神職である斎主に合わせ、参列者全員が御神前に一礼を致します。

祝詞奏上

のりとそうじょう

斎主が御神前に、お一人が夫婦の契りを結ぶ旨をお伝えし、末永い幸せを祈念致します。

誓盃三献

(三三九度の盃) せいはいさんこん

御神酒を三種類の盃(先祖への感謝、夫婦の成長、子孫繁栄)で酌み交わし夫婦の契りを結びます。

誓詞奏上

(せいしらかいのことば) そうじょう

新郎新婦が自ら御神前に進み、新郎は右手で、新婦は左手でそれぞれ誓詞の両端を持ち、夫婦となることを直接ご報告致します。

玉串拝礼

たまぐしひれい

新郎新婦が祈念した玉串を御神前に奉り(左下、玉串拝礼作法参照)、「二札一拍手一札」の作法でお参り致します。

指輪交換

(ゆびわこうかん)

新郎から新婦、新婦から新郎へお互いに指輪を交換し、夫婦の契りを結びます。

神楽

(豊栄の舞) かぐら(どよさかのまい)

新郎新婦の両家が親族となるための儀式になります。

親族固めの盃

しんぞくかためのさかずき

新郎新婦の両家が親族となるための儀式になります。

斎主一拝

さいしゅ いつぱい

式の納めにあたり、斎主に合わせ参列者全員が御神前に一礼を致します。

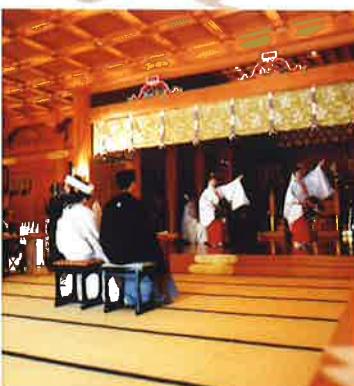
退下

たいげ

本殿より退出致します。

赤字は、新郎新婦が自ら行う儀式です。
式進行は、神職巫女が行い、所要時間は、約三十分程です。

緑字は、奏楽が入ります。



神楽



指輪交換



玉串拝礼



誓盃三献

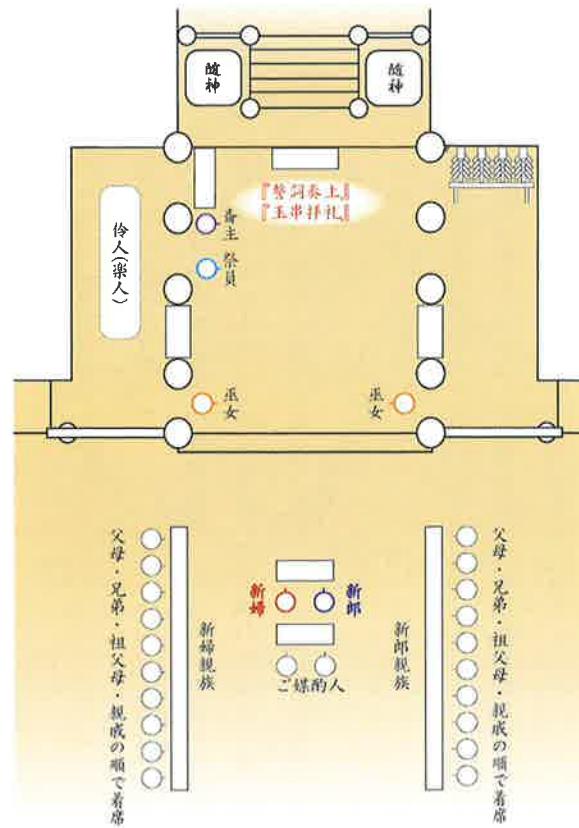


参進



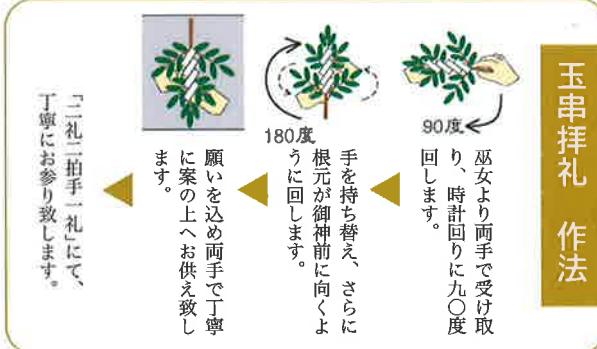
渡廊下

御本殿内祭場図



※正面より参入・退下

玉串拝礼 作法



「二礼二拍手一礼」にて、
丁寧にお参り致します。